

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

※品名・型番					
※保証期間	お買い上げ	年	月	日より	1年間
お客様	ご氏名				様
	ご住所				
	TEL( )				-
※販売店印(所在地、店舗名、電話番号)					

※印は販売店記入

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■ 販売店の方へ  
この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

**保証について** ※送料・出張料は、実費をいただきます。

- 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。
1. 保証書のご提示がない場合。
  2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
  3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
  4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
  5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
  6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
  7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)
  8. 電池の交換

## 電波時計 取扱説明書 (デジタル電子音目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造  
販売元 **リズム株式会社**〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12  
https://www.rhythm.co.jp

(Y2210)

## アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

- **修理部品の保有について**  
電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。
- **修理可能期間について**  
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。  
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**  
(フリーダイヤル)  
受付時間 9:00~17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)  
お問い合わせに際しては、製品番号(型番)をお伝えください。 例 8RZ000

## 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

**図記号の説明** ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

**警告** 次のことを守らないと、火災や感電により死亡や大けがなど人身事故の原因になります

**ぬれた手でふれない**  
感電や故障の原因になります。

**浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になるところでは使わない**  
感電や故障の原因になります。

**ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない**  
ケーブルが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

**AC電源アダプターやケーブルが傷んだときは使用を中止する**  
そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

**本体やAC電源アダプターから発熱・煙・異臭などがするときには、直ちにAC電源アダプターをコンセントから抜く**  
そのままにすると、感電や火災の原因になります。

**ACプラグおよびコンセントの差し込み口のほこりを定期的にとる**  
ほこりがたまること、絶縁不良となり、火災の原因になります。

**AC電源アダプターを接続するときは、コンセントや配線機器の定格を超える使いかたをしない**  
定格を超えて使うと、発熱や火災の原因になります。

**AC電源アダプターを布団などでおった状態で使わない**  
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

**故障や破損した状態で使わない**  
けがや火災、感電などの原因になります。

**誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない**  
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

**電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る**

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

**梱包用のポリ袋をかぶらない**  
窒息する恐れがあります。

**電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない**

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

**雷が鳴り出したら、本機やAC電源アダプターにふれない**  
感電の原因になります。

**分解や改造をしない**  
火災や感電、故障の原因になります。

**注意** 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

**電池の⊕⊖を正しく入れる**  
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

**強い振動や衝撃を与えない**  
故障や破損の原因になります。

**使用中のAC電源アダプターに長時間ふれない**  
低温やけどの原因となります。

**下記のような場所では使わない**  
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

**長期間使用しないときは、電池とAC電源アダプターを取り外す**  
安全のためAC電源アダプターや電池を取り外してください。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

**AC電源アダプターのケーブルを引っ張らない**  
断線を防ぐため、コンセントから抜くときは、AC電源アダプター本体を持ってください。

## LED表示の明るさの変化について

本製品は時計表示の光源にLEDを使用しています。LEDの特性上、光源の明るさが徐々に低下するため、色合いや各数字ごとの明るさに差が生じることがあります。

低下の割合は、使用する明るさの設定や設置環境により変わります。また、LEDは3年前後で新品時の半分程度の明るさに低下することがあります。

※LEDの交換や修理には対応できませんので、あらかじめご了承ください。

## 電波時計について

**電波時計とは**

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正して、正確な時刻をお知らせする時計です。

**標準電波とは**

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

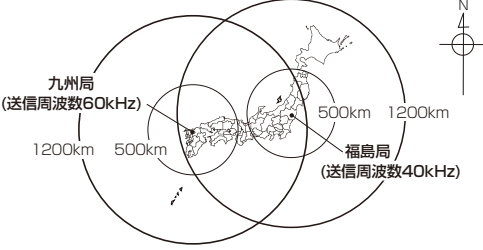
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jijy.nict.go.jp)

**電波の受信範囲について**

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

## 海外でのご使用について

この時計は、日本のAC100V電源を使用することを前提にしています。また、日本以外の標準電波は受信できませんので、**日本以外では使用しないでください。**

## 標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状況については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

## 静電気の影響について

静電気の影響により正常に機能しなくなることがあります。このようなときにはリセットボタンを押してください。

## 設置するときの注意

転倒を防ぐために、水平で振動の少ない安定した所に設置してください。

## 電池・時計の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

## お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

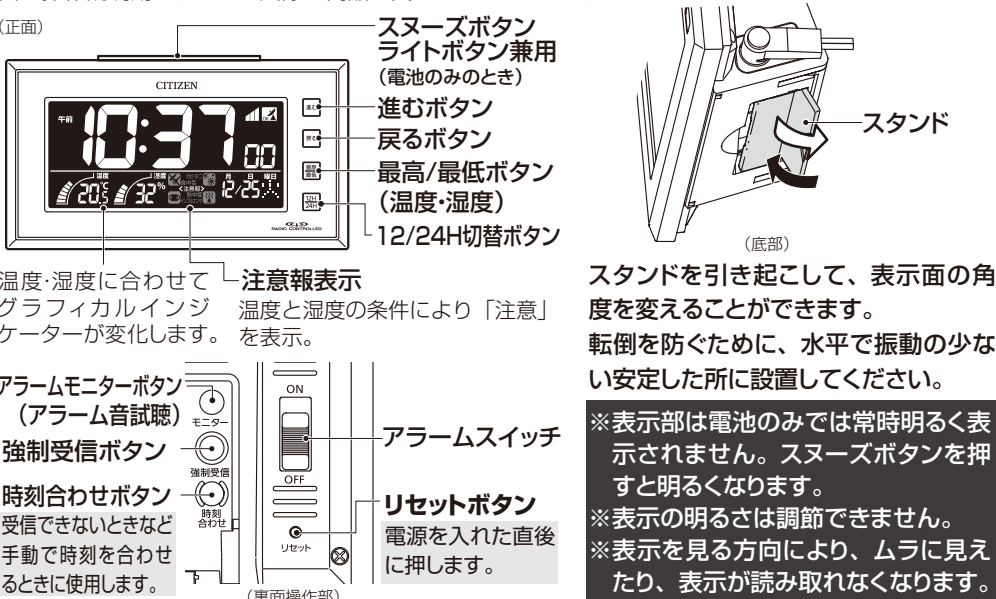
この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。



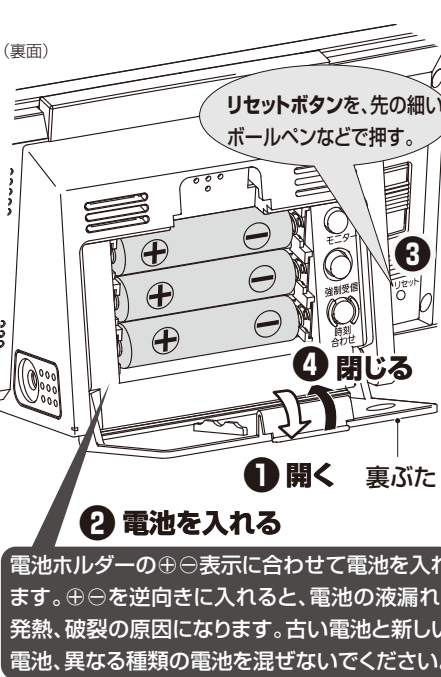
電池は付属しておりません。単4形マンガン乾電池を3個ご用意ください。

## 各部の名称と役割

図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



## 1 電波を受信して日時を合わせる



標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには、(手動での時刻合わせ)をお読みください。

電波の受信しやすい窓際などに置いてください。

- 裏ぶたを開ける
  - 電池を入れる
  - リセットボタンを押す
  - 裏ぶたを閉じる
  - 21分待って受信結果を確認する
- 受信は最長で21分程度行きます。
- ※【受信の流れと表示】参照
- 受信成功:受信マーク点灯  
受信失敗:受信マーク消灯

### 電波受信機能のON/OFF操作

●受信中はボタンに触れないでください。

- 裏ぶたを開ける
  - 電池を入れる
  - リセットボタンを押す
  - 裏ぶたを閉じる
  - 21分待って受信結果を確認する
- 受信は最長で21分程度行きます。
- ※【受信の流れと表示】参照
- 受信成功:受信マーク点灯  
受信失敗:受信マーク消灯

使い始めるときには、電池のみで標準電波を受信させて日時を合わせてからAC電源アダプターを接続してください。これは、AC電源からの電氣的なノイズを受けにくくするためです。

※電池のみでは表示部が常時点灯しません。スヌーズボタンを押すと約3秒間点灯します。

### 電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に進むまたは戻るボタンを押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信マークが消灯して受信を中止します。

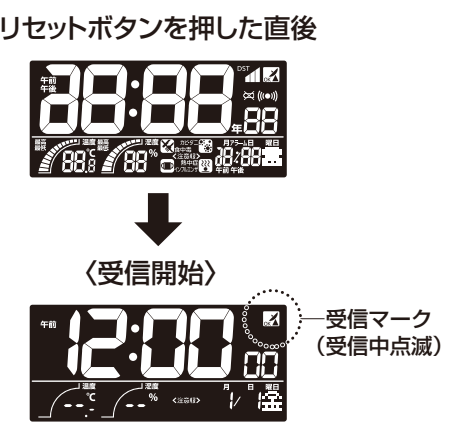
### 電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

## 【受信の流れと表示】

電池のみときは、表示が読み取りにくいので、確認するときはスヌーズボタンを押してください。



※電池を入れた直後およびリセットボタンを押した直後は、2010年1月1日、午前12:00、アラーム時刻は午前6:00に設定されます。

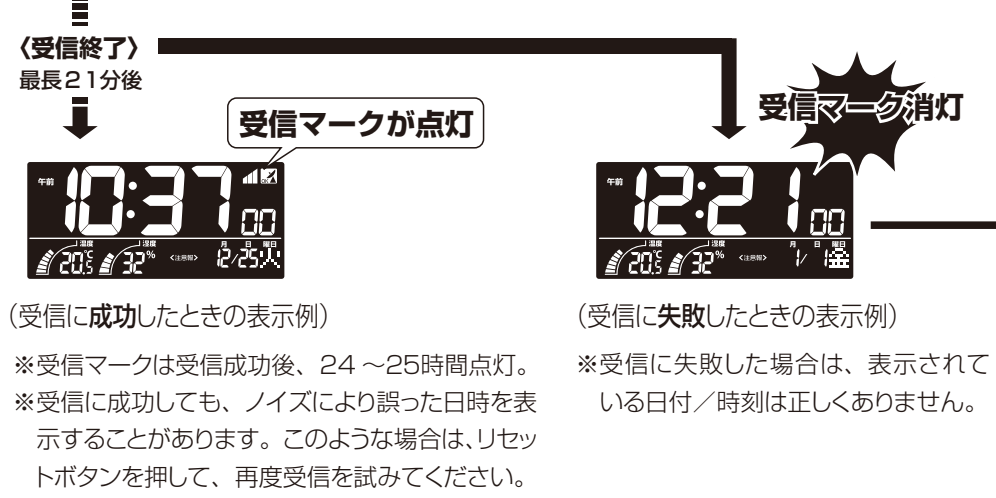
### 受信マークの変化(電波サーチ機能)

電波の状態により変化します。



### チェック!

1~2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。



### アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

## 標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく  
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す  
電波の受信しやすい窓ぎわや、取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くように置いて、リセットボタンを押して結果を確認します。

電波を受信できない場合は、下記の操作で日時を合わせてご使用ください。

## 手動での時刻合わせ …… 受信できないときや任意の日時に合わせるとき

操作例を参考にして、西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定してください。

年月日、時刻(時、分) - ボタン操作 操作例. 2018年12月25日 午前10:37に合わせる

時刻合わせボタン

進むボタン  
戻るボタン

1 時刻合わせモードにする  
時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで、約2秒間押し続ける。

2 西暦年  
年を進むまたは戻るボタンで2018に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

3 月  
月を進むまたは戻るボタンで12に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

4 日  
日を進むまたは戻るボタンで25に合わせ、時刻合わせボタンを押す。

5 時  
時を進むまたは戻るボタンで10に合わせ、時刻合わせボタンを押す。  
12時間表示のときは、午前 / 午後の表示に注意して合わせてください。

6 分(秒)  
分を進むまたは戻るボタンで37に合わせる。このとき秒は、進むまたは戻るボタンを押すたびに00に設定されます。

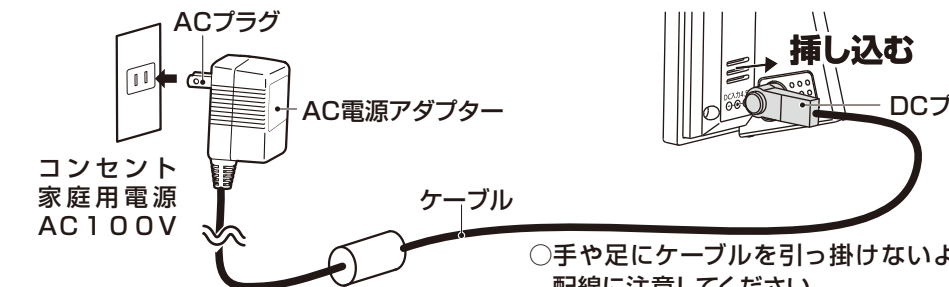
7 時刻合わせボタンを押すと終了します。

## 2 AC電源アダプターの接続

AC電源アダプターを接続してご使用ください。乾電池は停電対策としてご利用ください。

AC電源アダプターから電力が得られると、液晶表示部を常時照明します。乾電池のみでは、スヌーズボタンを押したときのみ、約3秒間照明します。

電波を受信しやすくするために、ノイズが発生しやすい家電製品やパソコンなどが、接続されているコンセントを使わないでください。



- ◎AC電源アダプターをコンセントから抜いたのに液晶表示部が照明されている。
- ▲しばらく放置すると消灯しますが、電池の消耗を防ぐために、時計からDCプラグを抜いてください。

## 電池のみで使用したときの照明機能について

スヌーズボタンを押すと約3秒間液晶表示面を照明します。

## 3 電池交換お知らせ機能

### 注意



電池マークが表示されたときは、速やかにすべての電池を交換してください。放置すると電池から液漏れが発生して、時計の修理、家具などの修繕に費用が発生することがあります。

※電池がセットされていないときも電池マークが点灯します。

※電池の残量確認は毎正時に行います。

●AC電源アダプターを使用していても、電池は定期的に交換して液漏れを防止してください。AC電源アダプターと併用したときの交換の目安は、マンガン乾電池 1年に1回、アルカリ乾電池 5年に1回。

## 4 アラーム機能

### アラーム時刻を合わせる

(月日を表示)

進むボタン  
戻るボタン

(アラーム時刻表示)

アラーム時刻

12時間表示のときは、午前 / 午後の表示に注意して合わせてください。

①アラームスイッチをOFFにする  
②進むまたは戻るボタンを押す  
アラーム時刻が点滅します。  
③進むまたは戻るボタンを押してアラーム時刻を合わせる  
押してすぐ離す : 1分単位  
押し続ける : 早く変わる  
※約5秒間ボタン操作をしないとアラーム時刻合わせを終わります。

### アラームのON/OFF設定

アラームスイッチON  
ON 設定時刻に鳴る

アラームスイッチOFF  
OFF 止める、鳴らさない

アラームスイッチがONのときアラームマーク点灯(●)

アラームスイッチをONにすると  
▶アラームマーク(●)点灯  
▶アラーム時刻が3秒間点滅してから点灯ONのときは、日付を表示しません。  
アラームスイッチをOFFにすると  
▶アラームマーク(●)消灯して月日表示

### アラームオートストップ機能(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約2分間鳴り続けて終了します。

### アラーム音の確認方法

アラームモニターボタンを押すとアラームが約2分間鳴ります。途中で止めたいときは、アラームモニターボタンを押すと止まります。

### アラームご使用上のご注意

アラームスイッチがONの状態では、OFFにするまで毎日アラームが鳴ります。

## 5 時刻表示形式の切り替え

12/24H切替ボタンを押すと時刻の表示形式が切り替わります。

午前 / 午後付12時間表示  
24時間表示

表示の切り替えは電波の受信中、アラーム状態、アラーム時刻や日時の設定中は切り替わりません。

## 6 温度・湿度・注意報表示

センサーが本体内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くでは室内の温度・湿度を反映しにくくなります。空気がよく循環する場所に設置してください。

※湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよい所と悪い所では違いがでます。また、設置する高さによっても温度・湿度が変わります。

※本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。また、厳密な温度、湿度の管理や証明には使えません。

### 温度・湿度の最高/最低表示

最高/最低ボタン

現在  
最高  
最低

最高/最低ボタンを押すと24~25時間以内の最高と最低の温度・湿度を表示します。最高/最低ボタンを押すたびに温度と湿度の表示が、最高→最低→現在の順で切り替わります。放置すると約10秒で最高または最低の表示が消えて現在の温度・湿度表示になります。

○電波の受信中、アラーム状態、アラーム時刻や日時の設定中は切り替わりません。

### 測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「HH.H」50℃より高温 「LLL」-9.9℃より低温  
湿度「HH」95%を超えている 「LL」20%未満 「--」測定不能(温度が5~50℃の範囲外)

### 注意報 温度と湿度の状態により、4種類の<注意報>を表示します。

注意報の種類

カビ・ダニ  
食中毒  
注意報  
熱中症  
インフルエンザ

※表示により発生の有無を断定するものではありませんので、空調や体調管理などの目安としてお使いください。  
※公的機関から発表される「注意」や「警報」とは一致しないことがあります。

### ひとくちメモ

- ◎熱中症  
高温環境下で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称です。気温、気流(風)、湿度、輻射熱の状態によっては、屋内外を問わず発生しやすくなります。こまめな水分補給、室温の調節、風通しをよくするなど体温の上昇を防ぐ必要があります。
- ◎食中毒  
梅雨など高温多湿となると菌が増殖しやすくなります。細菌による食中毒を予防する三大原則といわれているのは、1. 菌を付けない(清潔にする) 2. 菌を増やさない(迅速に冷却、乾燥する) 3. 菌を加熱などで殺す
- ◎インフルエンザ  
湿度が低いとインフルエンザウイルスの生存率を高めるとともに、鼻・喉・気管などにある粘膜の繊毛の働きを弱め、ウイルスによる感染が起こりやすくなります。室内の湿度を調節したり、マスクを着用するなどの対策が必要になります。
- ◎カビ・ダニ  
一般にカビ・ダニ等は、室温20~30℃、湿度70%前後が最もその生育に適した温湿度条件だといわれています。増殖を抑えるために、風通しをよくして、湿気がこもらないようにする必要があります。

## A 電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF(無効にして手動で時刻を合わせる) リセットボタンを約1秒間隔で3回押してください。○「ピー」と鳴ったらすぐに押してください。○受信機能がOFFになると「ピー」と鳴りません。○日時は手動で合わせてください。

受信機能 ON(有効にして受信を開始する) 戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピー」と鳴って受信を開始します。その後戻るボタンを離してください。○定期的受信して標準時刻に合わせます。

◎操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。  
◎電波受信機能は、工場出荷するときには有効(ON)になっています。

## B 強制受信とリセット操作

- 強制受信ボタン  
場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。受信に失敗した場合でも日付・時刻表示を継続します。
- リセットボタン  
電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2010年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00に初期化されます。
- 受信機能が無効のときは、機能しません。
  - 手動で日時を合わせているときやアラーム時刻を合わせているときは機能しません。